



ながわまち

令和8年5月1日発行

第82号

議会だより

■発行／長野県小県郡長和町議会 ■編集／広報広聴常任委員会 ■

●長和町議会 令和8年3月定例会

- ◆令和8年度予算特集 2
- ◆委員会審査報告／討論 6
- ◆一般質問 14
- ◆議会活動報告 24
- ◆賛否結果・臨時会 27
- ◆長和町「あの人を訪ねて」 28

■上田市長和町中学校組合立依田窪南部中学校 卒業式

こんな事業に使われます!!

事業の意義は大きいものの、参加者4名に対し総額700万円超と費用規模が大きい点が議論となりました。応募者が少ない現状や随行人数の妥当性も含め、費用対効果と継続のあり方が問われています。

長和町には今までに地域おこし協力隊が22名着任しています。任期完了が15名、うち定住されている人数は9名で64%に上り、一定の効果が出ています。受け入れ体制を充実させ、更なる効果を期待したいです。



Takada



地域おこし協力隊募集・受け入れ
及び活躍支援業務委託料
339万6,000円

県内で地域コーディネーターとして活躍する企業へ委託費として使われ、地域おこし協力隊の受け入れ充実を図るとともに、ミッションのミスマッチを未然に防いだり、退任後の起業や創業について伴走するなど、地域おこし協力隊受け入れの拡充をしていきます。



Isayama



地方創生事業 国際交流事業
長和青少年黒耀石大使
717万6,000円
(参加4名+随行4名+通訳1名)

中学生を英国へ派遣し、黒耀石文化の発信や英語でのプレゼン、石器づくり体験などを通じて国際的視野と郷土理解の育成を図る事業です。経費は1人当たり約85万円です(個人負担額は10万円)。

デジタル化っていうと難しく感じますが、導入されるとこれほど便利なおことはありません。Nナなどのアプリもいろんな情報が掲載されているので、ぜひ使ってみてください。

長和町地域情報アプリ

デジタル化により便利に
情報管理一般経費
2億3,112万3,500円



Ogawa

町内のインターネットの管理といるるな事務の不便さや役場での手続きを簡略化するためのシステムがここに詰まっています。これからはAIの導入も考えられています。

令和8年度
予算

令和8年度 私たちのお金は



Abe



「ながわさん」デマンドバス
(ICカード導入)
巡回バス運行業務委託料

6,156万7,000円

デマンドバスの運行費用は、運賃収入と国の特別交付税が活用され、一般財源からは約1,000万円の負担。令和8年度にはSuicaやKURURUなど町民向けICカード決済が導入されました。

子育てパスポートを持っている方は、デマンドバスを通常300円のところ半額の150円で利用できます。パスポートは長野県のスマホアプリでも提示可能です。意外と知られていないのでぜひ活用してみてくださいね。

長和町庁舎や支所を便利に安全で快適に利用するために多くのお金が使われています。いつも綺麗で清潔な庁舎や支所は気持ち良いものです。入る時に靴の泥を落とす、トイレの消灯など私達利用者も心掛けたいです。



Jyonai



長和町庁舎の一般管理費に
2,303万1,000円

和田支所846万8千円、大門支所71万9千円、長久保支所963万7千円が一般管理費として使われています。内訳は電気、ガス水道料の他、消防設備点検や機械保守・清掃等委託料などです。

行政人件費

特別職 **1億1,632万円**

一般職 **9億6,720万円**

包括業務委託 **1億7,123万円**

総額 **12億5,476万円**



Tatsuno

行政運営に関わる特別職とは3役・議員・選挙管理・農業委員等のその他特別職を指し、一般職とは正規職員92名と会計年度職員121名。包括業務委託は行政サービスや町の施設管理等を外部委託したものです。

対前年、特別職は議員報酬改定を含み414万円、一般職は給与改定と昇給に伴い398万円の増加。一方、時間外手当を990万円削減するなど策も講じられているが、若手職員の離職に連動しなければよいのだが。

病院負担金には、病院施設建設改良費や医療機器整備に係る経費、指定する医療経費があります。令和8年度予算では、病院負担金5億3354万8千円、施設整備事業分(過疎債)3430万円が計上されています。

町内の店舗、事業者について商工会と協働で、事業支援や町内経済の活性化をするために商工振興費が予算計上されました。商工業者の発展による町内経済の活性化を期待します。



Ogino



商工振興費
9,930万円

物価高騰により経営が圧迫されている町内事業者の経営支援のため臨時交付金を活用します。店舗及び事業者等の経済対策並びに地域住民へ地域内消費喚起を促すため「ながわの里地域いきいき券」事業を支援します。



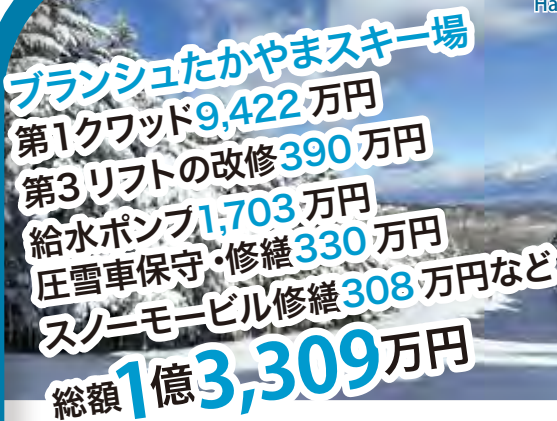
Tafuku

依田窪医療福祉事務組合
(依田窪病院・老健施設「いこい」等)負担金
6億1,614万7,000円

病院の運営等に関する経費には、病院の建設改良に要する経費、救急医療の確保に要する経費、高度医療に要する経費などが含まれます。老人保健施設「いこい」負担金は、4829万9千円が予算計上されています。

令和8年度主要事業はリフトの改修です。各地のスキー場で事故が起きていますが、経費削減による人の削減、機械の老朽化など防げる事故です。

本町を取り巻く少子高齢化、急激な人口減少、財政状況の悪化などに的確に対応できる計画策定。必要に応じて見直し・再設計を行う柔軟な姿勢をもつ「しなやかで強い自治体」計画策定を要望しました。



Harada

ブランシュたかやまスキー場
第1クワッド9,422万円
第3リフトの改修390万円
給水ポンプ1,703万円
圧雪車保守・修繕330万円
スノーモービル修繕308万円など
総額1億3,309万円

令和8年度のブランシュたかやまスキー場への町の支出が決まりました。財源は辺地債の予定で、総額1億3309万円です。また使用料として100万円の入金予定です。



Sato

長期総合計画策定
支援業務委託
499万4,000円

長和町の次期長期総合計画(令和9年度)長和町の未来を10年単位で描き、行政・議会・住民が同じ方向を向くための最上位の羅針盤の計画作成のための委託事業です。

一般会計 60億800万円

令和8年度一般会計・特別会計予算を可決しました!

町のお金はどんな事業に使われる?

特別会計 20億6,410万円

令和8年度
予算

令和8年度 長和町会計別予算額

会計名	8年度予算額	7年度予算額	増減額
一般会計	60億800万円	60億7,800万円	△7,000万円
国民健康保険特別会計	8億700万円	8億5,900万円	△5,200万円
国民健康保険歯科診療所事業特別会計	1,000万円	1,000万円	0万円
後期高齢者医療特別会計	1億2,350万円	1億1,070万円	1,280万円
介護保険特別会計	10億2,300万円	11億200万円	△7,900万円
同和地区住宅新築資金等貸付特別会計	760万円	740万円	20万円
観光施設事業特別会計	9,300万円	9,400万円	△100万円
特別会計合計	20億6,410万円	21億8,310万円	△11,900万円
合計	80億7,210万円	80億6,110万円	△18,900万円

令和8年度 上水道事業会計予算額

科目	金額	内容
収益的収支	事業収益 2億3,718万円	給水収益 1億 3,917 万円 他会計補助金 790 万円他
	事業費用 2億7,590万円	減価償却費 1億 5,323 万円 支払利息等 1,498 万円他
注) 収益的収支とは、水道料金などの収入と、運営に必要な維持管理費、減価償却費などの支出を表します。		
資本的収支	資本的収入 2億2,866万円	企業債 9,200 万円 他会計補助金 1億 3,576 万円
	資本的支出 2億7,142万円	施設改良費 1億 8,650 万円 企業債償還金 8,276 万円他
注) 資本的収支とは、施設の建設や更新に関する投資的な収入と支出を表します。		

令和8年度 公共下水道事業及び排水処理施設事業会計予算額

科目	金額	内容
収益的収支	事業収益 4億4,141万円	下水道収益 9,912 万円 補助金 1億 527 万円他
	事業費用 4億4,836万円	減価償却費 3億 1,129 万円 支払利息等 1,338 万円他
資本的収支	資本的収入 2億2,860万円	企業債 1億 2,000 万円 補助金 7,860 万円他
	資本的支出 2億8,979万円	建設改良費 3,141 万円 企業債償還金 2億5,738 万円他

令和8年度 一般会計 予算

予算特別委員会で審査！ 令和8年度一般会計予算審査報告



田福予算特別委員長

令和8年度長和町一般会計予算について、予算特別委員会を設置し、3月11日(水)・12日(木)の2日間に渡り審査を行いました。活発な質疑の後、討論・採決を行い、予算案は可決すべきものと決定されました。以下に審査の内容を抜粋して掲載します。

■ 予算特別委員会は、議長を除く9名の議員で構成され、田福副議長を委員長に選出、順次審査を行いました。

マイクロバス運行管理委託料

487万1千円

問 マイクロバス運行管理委託料が毎年50万円ほど増えている理由は？

答 委託料は、年間での運行委託で、増額理由は、物価高騰による人件費増が主な要因です。

デマンドバス・ICカード導入費用

125万5千円

問 公共交通ICカード導入で、使用率はこの程度見込んでいるか。

IC精算事務手数料 120万円
ICカード販売手数料 5万5千円

使用率は、お持ちのS u i c a

などを含めて2〜3割程度を初年度の目標に考えています。

地域おこし協力隊募集事業

350万5千円

問 地域おこし協力隊募集・受入及び活躍支援業務委託料は国の交付金等で補助されるのか。特別交付税が措置されますか。

地域おこし協力隊募集・受け入れ及び活躍支援業務委託料 339万6千円

公共施設等総合管理計画改定業務委託料

360万円

問 どのような改定を行うのか。

答 計画期間が平成28年から令和27年までの30年間を推定期間としており、令和4年度に1回目の改定を行い、今回は令和9年の改定を目指しています。今年度個別施設計画を立てた中でも除却費用を財政的に捻出できない状況です。各担当者のヒアリング等を行って実情に合わせて見直しを行っていきます。

自治体DX関係業務委託料

115万円

問 町のDX推進計画にAIを活用した議事録作成ツールの導入を検討するとあるが、職員が利用するものか。

答 AI議事録ツールは、職員が利用するツールです。来年度予算で導入を予定しており、文字起こし以外にも様々な機能が使えるAIツールです。





公営住宅維持管理経費

建物修繕費

1298万2千円

問 773万1千円
建物修繕費で多額の費用が計上されているが、どういった修繕に充てられるのか。

答 公営住宅の老朽化が進んでおり、多額の修繕費は、ここ最近連続して故障している給湯器関係の修繕費となります。

ふるさと納税運営費

4,302万4千円

問 ふるさと納税の運営費が4302万4千円かかるとのことか。

答 計上しているふるさと納税運営費4302万4千円のうち、ふるさと納税に係る運営費は138万2400円、ふるさと納税基金へ積立てるための歳出として2920万円を計上しています。

道の駅活性化推進事業

販売管理システム委託

720万9千円

1,328万円

道の駅直売所備品購入費
510万1千円

問 道の駅活性化推進事業の備品購入費の内訳を教えてください。

答 マルシェ黒耀の販売管理システムに係るサーバー機・管理用パソコン、Windows10からWindows11へ更新が必要な経理用パソコン1台分と従業員用パソコン5台分を予定しています。

たかやまスキー場管理事業

車両修繕費638万円

1億3,309万1千円

問 スキー場車両修繕費は、昨年度購入した圧雪車の修繕費のことか。

答 昨年購入した圧雪車の駆動部分を中心としたメンテナンス費用です。圧雪車を今後も良い状態で使用するためにはメンテナンス費用として165万円は必要で、165万円×2台分、330万円を計上しています。

マイナンバーカード関連

事務業務委託料

約85%です。

377万5千円

問 町内におけるマイナンバーカードの取得率は。

答 マイナンバーカードと健康保険証の紐づけ登録をしている方はどれくらいか。

答 12月末時点で、後期高齢者医療保険は、1461人に対し1127人で77%。国民健康保険は、1301人に対し952人で73%の方が紐づけ登録をされています。

クリーンセンター負担金

8,840万3千円

問 新しいクリーンセンターの建設が決まり、多額の負担金が見込まれているが、町としてどのように進めていくのか。

答 上田地域広域連合2月定例会で、整備費と完成後20年半の運営費が、合計で最大475億円に上ると報告されました。町の負担金は、今月の担当課長会議で示される予定です。

汚泥再生処理施設運営経費

施設維持管理委託料

1781万8千円

4,152万8千円

施設改良工事
1252万4千円

問 工事請負費で毎年多額の費用が出ているが、今後も継続していくのか。

答 施設運営の維持管理に係る機械系統の経費で、2基ある機械を交互にオーバーホール等するための費用となっています。

敬老祝賀事業

敬老祝賀事業消耗品

158万2千円

198万円

(百歳祝賀、金婚式祝賀費用)
敬老祝賀会補助金
37万5千円 (250名分を想定)

問 敬老祝賀会に関し、町としては今後終了の予定なのか。

答 民生児童委員会で検討しており、高齢者等の通いの場や自治会など地区毎に計画し開催する予定です。



老人保護措置費

2,128万3千円

問 老人保護措置費は、何人入居分なのか。また、申請してからどれくらいで入居できるのか。

答 2施設で10名入居しています。入所枠が決まっております。養護老人ホームは、比較的元気な方や生活困窮者等が入居しているため、あまり空きは出ません。退所があったら入居となるので、入居まで3年お待ちいただくこともあります。

在宅福祉町単独事業・運転免許自主返納補助事業

26万4千円

問 過去に支給したタクシー利用補助券をデマンドバスの回数券に交換することだが、交換窓口はどこか。

答 介護高齢者支援系の予定ですが、細かい部分は令和8年4月以降、対象者へ通知します。

和田小学校管理一般経費・修繕費

360万9千円

問 和田小学校管理一般経費の修繕費の内訳は。

答 雨樋などの修繕の他、和田小学校でエアコンが故障している音楽室のエアコンを設置する予算として280万円を予算計上しています。



文化財保護一般経費

716万9千円

歴史的景観形成（古町地区）400万円

問 豊受神社社務所に係る歴史的景観形成による補助金について、町の公金が出るということは、指定管理になるのか。

答 町の所有になるというものはなくて、あくまで補助金です。

国際交流事業

748万8千円

長和町・Breckand国際交流事業実行委員会負担金717万6千円

問 国際交流事業のこの取り組み自体非常に素晴らしいと思うが費用は高額です。その内訳を教えてください。

答 1人当たり85万6千円で、交通費・宿泊費が約75万円を占め

ます。渡航費や宿泊費が高騰しており、全体の額が上がっています。

問 特定財源の内訳を詳しく教えてください。

答 ふるさと納税が190万円。ガバメントクラウドファンディングで120万円を計上。申請中の自治体国際化協会からの助成金306万3千円です。



賛成討論



龍野一幸 議員

町民の幸せを優先した予算

令和8年度の長和町一般会計予算は、60億800万円前年度比マインス700万円である。

7年度は、生産性と効率性向上に向け、国のIT戦略やDX推進計画に則したシステム化に概ね切り替え、多様化・複雑化する課題に向き合ってきた。これは、町の財政への負担は重いものであった。8年度も継続した中での予算編成と捉えている。

8年度一般会計予算を賛成する主たる理由は、町民の安心・安全な暮らしを軸に、自然災害に対応するための体制強化・子育て教育支援、高齢者や弱者に向けた福祉向上支援、観光振興においても将

来に渡り持続可能な町づくりを見据えた、予算編成であると認めるものである。

一方、限られた財源の中で社会保障施策関係経費の増大・公共施設、道路、橋梁等の既存施設の長寿命化や適正な維持管理は余儀なくされ、基金を取り崩して財政不足を補う、という点では、危機感を感じる。将来の財政負担を軽減しつつ、安定した行政サービスの維持向上を目指してもらいたい。

新たな魅力創りを

職員の間外手当をおよそ100万円削減している。人件費コントロールは必要だが、若手職員に離職が出ないよう配慮は必要。人口減少問題、当町がいち早く取り組んだ給食費の無償化。4月からは公立小学校での無償化は全国展開となる。選ばれる町になるか、新たな創造が必要と考える。

基幹産業である農業。農機具は新品でないとの補助が受けられない制度。中古でも対応を望む多くの町民。改めて農業・観光・自然環境・教育など多方面に「長和の魅力」発掘が必要と感じる。一歩前進する1年となるよう、要望も含め長和町の更なる飛躍と発展を切に願ひ、本予算案に賛成とする。

(抜粋)

財政状況の悪化と過疎債依存への強い危機感

(1) 本町の財政は、人口減少・歳入減少・物価高騰・公共施設の老朽化という複合的な課題に直面している。その中で、近年の投資的経費の多くが過疎債に依存する構造となっていることに、私は強い危機感をもっている。行政からは「過疎債は元金の7割が交付税措置される」との説明があるが、これは「7割が確実に戻る」という意味ではない。交付税措置とは、将来の交付税に算入される「可能性」であり、国の財政状況や人口減少の影響を受け、満額が交付される保証は制度上どこにもない。



佐藤恵一 議員

賛成討論



(2) 厳しい財政状況の中でも、本年度予算案には以下の点で評価できる部分がある。不要不急の事業を抑制し、基礎的行政サービスを優先したこと。住民生活を守るための現実的な判断が見られる。それゆえ、私は令和8年度一般会計予算案に賛成する。

待つのではなく取りに行く姿勢を求める

私は、今後の町政運営において特に重要なのは、国の制度を「待つ」のではなく、「取りに行く」姿勢を持つことであると考える。国の補助金・交付金・モデル事業は、積極的に提案し、情報を「取りに行く」自治体に配分される時代である。

「長和町が他自治体との競争に負けない」ためには、①国の新制度の早期キャッチアップ、②省庁との情報交換、③他自治体の先進事例の研究、④町としての提案力の強化が不可欠である。行政には、こうした姿勢を明確に持つよう強く求める。

(抜粋)

社会文教常任委員会



阿部由紀子 委員長

委員長／阿部由紀子
副委員長／城内たき子
委員／田福光規
龍野一幸
諫山三武

社会文教常任委員会は3月10日(火)に委員会を開催。付託された条例案、令和7年度補正予算案、令和8年度特別会計予算案、指定管理者の指定などについて審査し、すべての議案が可決すべきものと決定されました。

令和7年度長和町一般会計補正予算(第8号)について
既定の予算総額から1846万8千円を減額する。

住民生活課

135万2千円減
環境衛生総務費一般
経費 住宅・建築物耐震改
修事業補助金111万5千
円の減

問 過去に住宅・建築物耐震改修を実施した件数は何件か。

答 令和4年に実施した1件のみです。

問 耐震診断をし、その結果を基に実施する事業だと思いが、改修の費用が高額であり金銭的な問題で実施しないケースがあると考える。県への進言等を行い、使いやすい補助事業にしていける必要があるのでは。

答 本補助事業は、最大で115万円の改修費用を補助するものですが、改

3月 議会

長和町議会 令和8年第1回定例会が、2月26日(木)から3月23日(月)までの26日間の会期で開かれ、条例案8件、補正予算案4件、令和8年度予算案5件、指定管理者の指定について5件などの審議を行い、すべての議案が可決・同意・採択されました。また、9人の議員が一般質問を行いました。
審議結果は議会ホームページに掲載しましたので、下記QRコードからご覧下さい。



修に係る費用に対して補助額が少額であり断念するケースも多くあります。県では「低コスト工法」を推奨しており精密な診断を元に、天井、壁、床を壊さずに建物の強度を確保する工事をする事でより安価な改修とし金銭面での負担を減らす取り組みをしています。

住民生活課

179万7千円減
汚泥再生処理施設運営経費 施設維持管理委託料112万円の減

問 PFASの検査にはいくらかかっているか。また

た、大きな金額の補正予算となった原因は何か。
答 PFASの検査は、1検体あたり6万3千円です。今回の減額は令和7年度当初予算策定時の見積額に対し、実際入札した金額に差があり、今回の減額補正額の9割強を占めています。

保険福祉課

156万6千円減
在宅福祉町単事業 高齢者補聴器購入費購入費補助事業27万5千円の減

問 補聴器購入費補助事業の実績状況はどうか。
答 当初20人分を計上して

教育課

25万9千円増
黒耀石展示・体験館運営事業 役員費・一般手数料16万3千円の増

問 キャッシュレス決済について1件当たりの手数料は。

答 決済の会社により率は異なりますが、大体3%から5%です。

令和8年度長和町国民健康保険歯科診療所事業特別会計予算について

規定の予算総額から400万円を減額する。

問 令和7年度補正では400万程減額になっていましたが、令和8年度当初予算でまた同じ金額で計上した理由は。

る為減額となりましたが、来患者数が増えれば収入も上がりますので、見込みにより計上しております。

答 実績で収入が減って

令和8年度長和町後期高齢者医療特別会計予算について

令和8年度予算総額1億2350万円

問 保険料について、値上がりになると考えて良いか。

答 基礎賦課額につきまして、所得割率は9・45%から8・80%になり下がりますが、均等割額は4万4365円から4万8

827円になり上がります。さらに新設される子ども・子育て支援納付金分につきまして、所得割率が0・25%、均等割額が1339円となりますので、値上がりとなります。

令和8年度長和町介護保険特別会計予算について

令和8年度予算総額10億2300万円

問 コロナ禍を機に介護給付金が年々減少しているが、今後の見通しとしてはどう考えているか。

答 介護給付費について

は、令和5年以降、徐々に増加しています。今後の見通しについては、不明な所もありますが、要介護認定者数に大きな増

減はなく、現状では施設介護給付費が減少し居宅介護給付費が増加している傾向にあります。このような状況から、住み慣

れた地域、自宅で暮らしたいという高齢者の思いが実現できているのではないかと考えられます。

令和8年度長和町同和地区住宅新築資金等貸付特別会計予算について

令和8年度予算総額760万円

問 同和住宅資金滞納金は全体でいくらか。

答 滞納金全体では、約6000万円です。



昨年9月、町の生ゴミ堆肥化処理施設「くるりん」視察の様子

★ 語句解説 ★

PFOS・PFOA とは

水や油をはじく性質を持つ化学物質で、自然界で分解されにくいことから、環境への影響が心配されている物質です。

長和町では昨年、汚泥たい肥からPFOSが確認されたことを受け、原因の特定や安全性の確認に向けた調査が進められてきました（P18 荻野議員が一般質問で取り上げていますので御覧ください）。

総務経済常任委員会



佐藤恵一 委員長

委員長／佐藤恵一
副委員長／小川法樹
委員／原田恵召
荻野友一
高田 傑

総務経済常任委員会は3月9日(月)に委員会を開催。付託された条例案、令和7年度補正予算案、令和8年度特別会計予算案、指定管理者の指定などについて審査し、すべての議案が可決すべきものと決定されました。

令和7年度長和町一般会計補正予算(第8号)について既定の予算総額から1846万8千円を減額する。

総務課

消防団員退職報奨金

34万5千円減

問 いわゆる幽霊団員への報奨金支払いは。

答 分団長と話し合い活動実績がなければ退職金は支払われない。

女子美術大学とのアートによる長和町活性化事業

20万5千円減

問 令和7年度はどのような事業を行ったのか。

答 ノベルティ制作を行った。当初の見込み学生等の人数、来町者数の実績が見込みを下回るため減額となる。

1,000万円増

財政調整基金等積立金

問 厳しい財政状況を議会として共有するため、財政推計の提出をお願いしたい。提出はいつ頃か。

答 新年度早々に提示いたします。

※減債積立金、将来の借金返済に備えて積立てる基金(令和6年度末4億2600万円) ↓ 令和7年度末予想3億9600万円 ↓ 令和8年度末3億5600万円)

182万2千円減

空家対策総合支援事業 和田久保地区略式代執行による空家の取壊費用等

問 建物解体費は全額どのくらいかかったか。

答 約220万4千円かかりました。

産業建設課

東京農業大学山村再生プロジェクト

150万円減

問 学生が主体となって取り組むということは事業は縮小傾向となるのか。

答 今までは年7回20名で来町していましたが、今年度からは班を単位に学

生が計画したスケジュールに併せて年1回来町する方式になりました。

長和町和田宿滞在型交流施設条例の制定について

歴史的建造物における滞在を通して歴史及び文化に触れる機会を作り、もって地域の活性化及び観光振興に寄与することを目的として設置、管理に必要事項を定める。

問 交流施設条例の第1条(設置)の中に、町民への「福祉の増進」に係る内容が含まれているとのことだが、改めて町の見解を確認したい。

答 文内の「地域の活性化及び観光振興に寄与する

ことを目的として」の中に「福祉の増進」につきましても含まれていると解釈しております。「福祉の増進」も含めた様々な取り組みを実施いただけるよう、仕様書にも盛り込む予定です。

長和町給水条例の一部を改正する条例について 長和町公共下水道条例の一部を改正する条例について

当該委員会付託案件は全員賛成により可決すべきものと決定したが、付帯決議案を本会議に提出することを決定。

付帯決議(抜粋) ①水道料金及び下水道料金の25%値上げとなり、大幅な改定となるため町民が理解するにはきちんとした説明会

と資料が必要である。この説明会を早急かつ丁寧開催すること、②また、生活困窮者に減免措置等のできる限りの対策をとること。

令和7年度長和町上水道事業会計補正予算(第3号)について

事業債借入1億5000万円、支出補正予算額4100万円

問 美し松別荘地の水道改良工事はいつからの予定か。

令和8年度、9年度予定しているのその後になる予定です。

答 滝ノ沢水道改良工事を

令和8年度長和町上水道事業会計予算について

滝ノ沢水道改良工事1億8650万円

問 料金改定にあたり説明会を開催する予定はあるか。

方を理解いただくために開催の方向で事務を進めます。

答 現状と料金改定の考え

令和8年度長和町公共下水道工事及び排水処理施設事業会計予算について

問 ニューズで全国各地の施設老朽化により下水道が壊れる事故を目にするが、長和町の状況はどうか。

年数が過ぎている箇所があります。あくまでも標準耐用年数ということで詳細な調査をしないと管内部の劣化状況は分かりませんが、5年に1度は点検を行うようになっていきますので、そういった事故の無いように努めます。

答 下水道施設につきま

しては、法定耐用年数は概ね50年間とされていますが、ストックマネジメント計画を策定し姫木と鷹山の一部でおそらく耐用

修正動議と付帯決議について

3月23日(月)・本会議

規光議員 田福議員 議案第10号に対する一部修正案を可決!

1. 表題文章の「長和町和田宿滞在型交流施設条例」を、歴史的な建造物である長和町和田宿滞在型交流施設「羽田野」条例に修正する。
2. 第1条(1)歴史的な建造物である「羽田野」の保全、維持管理を行うこと、を加えて、以下は(2)として続ける。
3. (指定管理者が行う業務の範囲)
第17条 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。
(1) 指定施設の利用の許可及び利用に関する業務
(2) 指定施設の保全、維持管理及び運営に関する業務(傍線部分を追加)

一野友議員 荻野議員 議案第11号・12号に 対する付帯決議

「長和町給水条例の一部を改正する条例及び長和町公共下水道条例の一部を改正する条例に対する付帯決議」
今議会に提案されている上下水道料金の25%の大幅な値上げについて大変苦慮をしている。しかし、昨行われた長和町上下水道事業運営審議会の答申書を尊重し、町民が理解するためにきちんとした資料を用いた早急かつ丁寧な説明会の開催。今回の値上げは今後5年間にわたる料金であり、その後については不透明感を否めないため、将来に対し安定的な上下水道運営に関する計画の説明会の開催。生活困窮者のための減免措置等の対策を申し入れる。

1, 小川 ^{おがわ のりき} 法樹 議員 …………… P.15

(1)長和町のデジタル化について

2, 田福 ^{たふく こうき} 光規 議員 …………… P.16

- (1) 上下水道料金引き上げ20%への見直しについて
- (2)河川、湖沼の水質検査の結果と対応について
- (3)移住定住の促進、空家バンクの取り組みについて

3, 諫山 ^{いさやま さぶ} 三武 議員 …………… P.17

- (1) 長和町の環境・施設を活かした合宿受入のあり方について
- (2) 長和町における企業誘致施策の方向性について

4, 荻野 ^{おぎの ともかず} 友一 議員 …………… P.18

- (1) 自然と調和した快適で安全なまちづくりについて

5, 佐藤 ^{さとう けいち} 恵一 議員 …………… P.19

- (1) 役場庁舎への太陽光発電導入となぜPPA方式を活用しないのか
- (2) 沿線道路のゴミ管理と一斉清掃中止後の対策について
- (3) ながわ星空回廊を活かした観光戦略と、別荘地住民・二地域居住者への波及効果について

6, 龍野 ^{たつの かずゆき} 一幸 議員 …………… P.20

- (1) 農業振興について
- (2) 小学校給食費無償化について
- (3) ガバメントクラウドファンディング(GCF)について

7, 高田 ^{たかだ すぐる} 傑 議員 …………… P.21

- (1)「長和町観光振興計画(案)」の進捗状況について
- (2) 今後の地域おこし協力隊募集計画について
- (3) ふるさと住民登録制度について

8, 城内 ^{じょうない こ} たき子 議員 …………… P.22

- (1)「令和6年3月 長和町地域防災計画」から長和町の防災について

9, 阿部 ^{あべ ゆきこ} 由紀子 議員 …………… P.23

- (1) 作物や生活を守る為の獣害対策

質一般

9人の議員が 町政を問う!

令和8年第1回定例会では、3月4日(水)5日(木)に一般質問が行われ、9人の議員が町の課題について質しました。

★議員の質問時間は、答弁を含め60分以内です。「議会だより」では、誌面の都合上、質問議員が質問と答弁を要約して掲載しています。



小川 法樹
議員

長和町のデジタル化について

長和町のデジタル化取組状況は

DX推進計画に基づき効率化を図る

問 令和4年度に「長和町DX推進本部」を設置し、各課の要望を吸い上げ導入検討を行ってきたと認識している。町民サービスの利便性向上と職員の負担軽減という観点から、これまでの具体的な成果を伺いたい。

答 総務課長事務取扱 国の自治体DX推進計画に基づき、8つの重要項目を推進している。実績として、タブレットを活用し申請書作成を簡略化する「書かない窓口」、情報をプッシュ通知する住民向けアプリ「Nナビ」、登降園管理や欠席連絡が可能な「保育園ICTシステム」、会計窓口でのキヤッシュレス決済導入などを実装した。また、

住民基本台帳など18の基幹業務システムの標準化を進めており、令和8年中に全業務の移行を完了する予定である。内部業務でも、勤怠管理システムの導入や業務可視化ツールによる無駄の洗い出し、電子契約の導入準備により効率化を図っている。

問 各施策について、PDCAサイクル（計画・実行・測定・改善）等による客観的な効果検証は行われているか。

答 総務課長事務取扱 DX推進部会において検証を実施している。年度初めに導入・検討計画を立案（P）し、実行（D）、年度末に部会で結果を共有・評価（C）して次年

度のアクション（A）に繋げるサイクルを基本としている。今後も専門家の支援を受けながら進めていく。

問 愛知県のチャットボットや宮崎県串間市の施設予約システム等の成功事例を参考に、さらなる業務削減や住民の利便性向上を追求すべきではないか。

答 総務課長事務取扱 RPAについては試験導入したが、本町では処理量が少なく費用対効果が見込めないため導入を見送った。チャットボットや施設予約システムも、運用コストや鍵の受け渡し等の課題により、現在は検討を中断している。一方、生成AIについて

は、挨拶文作成や音声データの文字起こし、翻訳などの業務支援を目的に、令和8年度の本格運用を目指して予算を要求中である。ただし、セ

キュリティや商標権等のリスクがあるため、研修を受けた職員に限定した厳格な運用体制を整え、スキルの向上を図りつつ進めていく。

★ 語句解説 ★

- DX（デジタルトランスフォーメーション）：デジタル技術を活用して、今の仕事のやり方を変え、より便利で新しい仕組みを作ること。
- AI（エーアイ）：人工知能のこと。
- RPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）：データ入力や書類の照合など、決まった手順の事務作業を、人間の代わりに自動でやってくれるシステムのこと。
- 書かない窓口システム：申請書を手書きしなくても、免許証やマイナンバーカードを読み取るだけで、名前や住所が自動で入力される便利な仕組み。
- ICT（情報通信技術）：インターネットなどの通信技術のこと。答弁書では、保育園の欠席連絡などをスマホで完結させるシステムとして紹介されている。
- チャットボット：質問を入力すると、人間ではなくシステムが自動で会話形式にて答えてくれる仕組みのこと。



田福 光規
議員

上下水道料金引き上げ20%への見直しについて

25%引き上げでなく、20%に見直しを！

これ以上の繰り入れは、困難です

への援助（福祉減免）の実施を要請します。

答 産業建設課長 実施自治体の情報収集をしたいと考えます。

答 産業建設課長 実施自治体の情報収集をしたいと考えます。

問 今後の上下水道料金の値上げに関する予定は。

答 産業建設課長 8月1日付料金改定で、11月請求分より新料金にて請求をさせて頂きたいと思いを。

問 ひとり親世帯の方、重度障害児を扶養している方、身体障害者等の方、住民税非課税世帯の方等、経済的に厳しい家庭

答 産業建設課長 開催する方向で検討してまいります。

問 多くの町民の皆さんは、25%もの値上げに対して、「突然のことであるからわからない。まずはきちんと説明すべきだ」との意見を持たれています。町民の皆さんの理解を深め、ご意見を聞くために、是非とも、町民向けの「上下水道事業懇談・説明会」の開催を要望します。

答 産業建設課長 開催させていただきます。

問 羽田町長に、国・県への要望、提案の取り組みについてお聞きします。

答 町長 1月26日に、水道事業の広域化・広域連携に関する要望書を新田副知事に提出させて頂きました。この要望書の提出は、全ての長野県町村長の同意を頂き、町村会長として提出させて頂いたものです。

問 平均月5063円、25%引き上げると年1万5192円もの引き上げになります。一気に25%の値上げではなく、値上げを20%に抑える検討を行っていますか。

答 産業建設課長 水道料金は、合併以降これまで大規模な値上げをせず運営してきました。しかし現在の施設が耐用年数を迎え、老朽化により今後施設を維持する費用も必要となる為、審議会等で議論を重ねて、値上げ幅を算出してきました。一般会計からは、令和8年度予算案で上下水道事業併せ3億2000万円を超える繰入を計上しており、これ以上の繰り入れは困難。

問 上下水道料金25%引き上げで、家計負担はいくらになりますか？

答 産業建設課長 事業者及び定額制（別荘）を除いた一般家庭の使用料は平均で1ヶ月あたり水道2147円、下水道2916円で合計5063円となります。

問 町民の上下水道料金の

答 産業建設課長 開催させていただきます。

「上下水道事業懇談・説明会」の開催を！
開催させて頂きます



鷹山水処理センター



武山 三諫
議員

長和町の環境・施設を活かした合宿受入のあり方について

長野県合宿ガイド未掲載の理由とは

受入体制整え、掲載目指す

問 合宿受入は、町の施策の中でどのように位置づけられているか。

答 町長 総合戦略の「ひとの流れを呼び込む」施策の一つであり、観光振興、スポーツ振興、交流施策において担当課が丸となって進めなければならない取り組みである。

問 県作成の「長野県合宿ガイド」に長和町が掲載されていない理由と、今後の対応は。

答 産業建設課長 従来掲載施設だった姫木平自然の家が返還され営業休止のため。今後は宿泊施設への意向確認や調査を行い、掲載を目指す。今後の受入体制整備は



長野県が作成した『長野県合宿ガイド』

問 どう進めるか。

答 産業建設課長 施設や人材の把握、関係部署の情報共有を進め、将来的

には窓口やコーディネーターを担う体制づくりも検討する。

長和町における企業誘致施策の方向性について 企業誘致の幅をどう広げるか

人材集約型企業も含め検討する

問 人口減少が進む中、総合戦略や町長公約において、企業誘致や新たな働き方などのように位置づけられているのか。

答 町長 企業誘致は人口減少社会の中で地域経済の持続可能性を確保するための重要な施策の一つであり、地域資源を活かした産業振興や新たな人の流れの創出につなげていきたい。

問 これまでの企業誘致の取り組みと、現在の体制はどうなっているのか。

答 産業建設課長 天然水充填工場計画や動物病院誘致などの検討を行ってきたが、相手方の事情や地形条件などにより実現には至っていない。現在は古町呑入地区を地域未来投資促進法の重点地域として登録し、企業進出時の税制優遇などの制度

を活用できる環境を整えている。相談窓口は産業建設課商工観光係が担っている。

問 工場立地だけでなく、サテライトオフィスやクリエイティブ系企業の誘致についてはどう考えるか。

答 産業建設課長 こうした人材集約型企業の誘致も、町が目指す企業誘致の一つと認識している。
問 空き家活用や移住施策と一体で進める考えはあるのか。
答 産業建設課長 空き家対策や移住定住施策と連携した受入体制の構築は合理的であり、関係部署と協議しながら検討していきたい。



萩野 友一
議員

自然と調和した快適なまちづくりについて

有機フッ素化合物の汚染対策について 健康への悪影響はないと考えられる

問 自然と調和した快適で安全なまちづくりについて、町として行ってきた施策と結果についてお尋ねします。

答 町長 推進施策として「災害防止と環境保全」、「道水路の整備と保全」、「上下水道の整備と保全」、「住宅等の整備と保全」の4つの推進施策を掲げ、13の施策方針を掲げています。それぞれの施策方針に沿って全部で67の施策を推進し、ほぼ達成できたと考えております。

問 昨年検出された有機フッ素化合物に対し検出後の町の対応についてお尋ねします。

答 住民生活課長 昨年4月3日に採取結果が明らかになり、5月7日に検査、6月16日に議会へ報告、6月26日に追跡検査、8月26日に報告、今年1月15日に検査、2月

10日に報告し、最新の結果状況を踏まえ、健康リスクは極めて低く安心であると考えています。

問 有機フッ素化合物の危険性について町の見解をお尋ねします。

答 住民生活課長 有機フッ素化合物のうちPFOSA、PFOSについては、環境中で分解されにくく、長期間残留し、生体内にも蓄積しやすい性質を有していることから、国際的にも懸念が示されている物質と確認されています。慎重に扱うべき物質であるとの認識に立ちつつ、科学的根拠に基づいた冷静な対応を行うことが重要であると考えています。

問 毒性の高いPFOSやPFOAはすでに国の対策により、国内での生産・輸入の禁止がされているが、町内に持ち込まれる可能性はどの様な事が考

えられるのか、また町内で発見された時の対応についてお尋ねします。

答 住民生活課長 国内では法律により製造や輸入が禁止されており、町内で製造されることもありません。しかし、輸入製品や過去に使用された消火剤、撥水加工品などに微量残留している場合や適切に処理されず保管されている場合には、町内に持ち込まれる可能性があります。町内で確認された場合は、関係部局と連携して速やかに調査し、流通経路や発見場所を特定するとともに、町民の健康と安全を最優先に処理をします。

問 現状、長和町内の有機フッ素化合物については「安全であると考えている」との認識でよいのかお尋ねします。

答 住民生活課長 行政の

責任とは、現時点で得られている最新かつ信頼性の高い科学的知見に基づき、合理的な判断を行うことだと認識しています。汚泥肥料における今回の判断は、町単独の判断ではなく、国の健康リスク評価および県の共通認識に基づくものであり、行政裁量の範囲内で、適切な手続きを踏んだ判断であります。

問 県外では野積みされた廃棄物から水道水への有機フッ素化合物の汚染が報じられていたが、町内における産業廃棄物の規制と監視についてお尋ねします。

答 住民生活課長 産業廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、適正な収集・運搬・処理が義務づけられています。監視については通報等により発覚次第、迅速に関係機関と連携した対応を行う体制を整えています。

問 環境汚染、景観汚染どちらも自然との調和を大切に考えるが、これらの対策について町長の考えをお尋ねします。

答 町長 町としては自然との調和を大切にするとともに、環境汚染や景観汚染を重大な問題として認識し、監視・管理体制の強化、廃棄物処理の適正化、不法投棄防止、住民への情報提供や啓発を徹底するとともに、迅速かつ毅然とした対応を行い、町民の健康と安全、そして自然環境の保全を最優先に取り組んでまいります。



佐藤 恵一
議員

沿線道路のごみ管理、道路沿いの景観は町の印象を決める

峠道のごみ問題の対策は

悪質なものは通報いただき対応したい

問 継続した除草活動のために省力化のための機械導入はできないか。

答 町長 長和町は令和6年に景観計画を策定し、景観行政団体に移行しましたので、当町ならではの良好な景観を守り、町民の皆様や事業者の皆様と一緒に、より主体的な景観づくりに取り組んでまいりたい。

答 住民生活課長 県や町で道路全ての草刈り等を行うことは財政上難しいので、交差点やカーブ等の交通に支障のある箇所のみにおいて草刈り等の業務委託を実施している。今のところ機械の導入等の予定はありませんが、信州ふるさとの道ふれあい事業（*アダプト

システム）の参加拡大を呼びかけてまいりたい。令和2年度より一斉清掃がなくなったことで、特に峠道、基幹道路のみが山積しています。現在は誰がどの頻度でどの範囲を清掃する体制になっているのか。

答 住民生活課長 令和3年度から町内清掃に切り替わり、各峠について「誰が、どの頻度で、どの範囲を清掃する体制」について特段定められたものはありません。

問 峠道、幹線道路のごみ山積み問題に対する対策は。

答 住民生活課長 悪質なものは住民のみならず通報いただき対応をしていきたい。

問 公用車にドライブレコーダーを実装することにより、不法投棄抑制施策を推進する考えはあるか。

答 住民生活課長 個人情報の観点や安全なデータの取り扱いの仕組みについて検討する必要がある。

答 住民生活課長 個人情報

報の観点や安全なデータの取り扱いの仕組みについて検討する必要がある。

る。設置費用、管理方法、運用ルールの策定なども含めて整理が必要と考えている。

★ 語句解説 ★

* 信州ふるさとの道ふれあい事業（アダプトシステム）
県管理道路を地域団体が“里親”となり、清掃・草刈りなどの美化活動を行う制度。県・市町村と協定を結び、地域で道路景観を守る仕組み。
団体への主な特典：県から清掃用具の貸与・広報支援、活動区間への団体名入り看板設置（社会的信用の向上）、地域貢献として企業CSR・学校教育に活用可能。



12月一般質問の際要望した国道、側溝の清掃



龍野 一幸
議員

農業振興について

現状の耕作地を今後は守って行けるか

作物ごと生産性向上支援に転換を検討

問 農地利用状況調査、令和3年と比較して最新値は。

答 産業建設課長 耕作面積737haでマイナス36ha・遊休農地124haでプラス36ha・再生不能地172haでマイナス7haとなっている。

問 この実績値を今後守っていくのか、改善目標値を定めるなど、具体策は計画しているのか。

答 産業建設課長 食料需給の変動、温暖化、人口減少等の諸情勢の変化に対し国は、食料供給困難事態対策法やスマート農業技術活用促進法などを成立させた。国からは今後の展開についての具体策などの宿題は出ていな

いが、水田活用の直接支払い交付金は、令和9年度より水田・畑に関わらず作物に応じた支援転換を検討していく、とされている。

問 スマート農業技術導入には補助制度と今後の展開は。

答 産業建設課長 現状、補助事業の申請はしていないが、農業現場で深刻化する労働力不足や生産性向上に向けた改善にはスマート農業技術導入・活用は不可欠となっている。様々な課題もあることから、県と連携しながら対応を考える。

問 野性化している耕作放棄地の現状、鹿等の住処にもなっている。獣害対策・害虫駆除や無農薬野

菜作付けなどを目的に、火入れの必要を感じる。町として検討できないか。

答 産業建設課長 景観の悪化や生活環境面でも課

題であると認識している。森林法において一定の要件を満たす場合を除いて、立木竹や雑草等の焼却は禁止とされている。林野火災が多発して

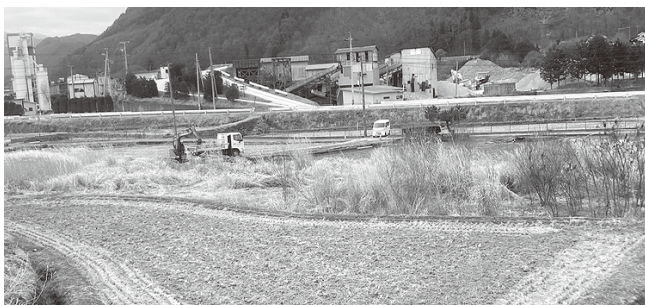
いる現況から火の取り扱いには控えて頂きたい。町としては土木の作業により、農地の有効利用など農業振興に向けて再生を考えていきたい。

小学校給食費無償化について 過疎債繰り入れ額減少分の活用は 他の事業に充当できないか検討している

問 小学校の給食費は今まで当町が過疎債を活用して全額負担してきた。4月より児童1人月5200円、国の支援が始まる。負担減額はいくらか。他の使い道の検討は。

答 教育長 児童数176人、1006万円余りとなる。

答 町長 令和8年度も過疎債限度額は6960万円が現段階である。有利な起債ではあるが残り町の負担でもあり、厳しい財政状況の観点で借入総額は抑制して行く考え。



遊休地の現状 (古町橋周辺)



高田 傑
議員

「長和町観光振興計画（案）の策定」の計画について

今後の観光推進体制の方向性は？

4月に検討委員会立上げに向けて推進

問 令和8年度中に計画

とされる「長和町観光振興計画（案）の策定」につきまして質問させて頂きます。今後の長和町の新たな観光の再構築には地域内からの意見は勿論、地域外の視点や斬新なアイデア、新たな観光資源の掘り起こしなど様々な人々が関わり、意見を出し合う場が必要であり、切れる事なく、継続的に行われる事が観光再構築の第一歩として必要不可欠と考えており必ず実現に向けて推進いただければと思います。つきましては「長和町観光振興計画（案の策定）に向けて、現時点での令和8年度のスケジュールや企画案等をお教えしてください。

答 産業建設課長

長和町

観光振興計画案の策定に向け、令和8年4月より検討委員会またはワーキンググループ立ち上げ、計画原案をもとにしたワークショップを開催し、9月に策定できるよう進めていけたらと考えております。並行して、令和8年6月から、新たに「長野県宿泊税制度」が開始され、長野県の新たな観光まちづくりのための事業展開も求められております。また令和9年7月からは、JRグループ6社による「信州デステイネーションキャンペーン（DC）」が決定しており、令和8年度はプレDC期間として位置づけられ、長野県

を中心に、令和9年度に向けた事業を展開して参

ります。

長和町における地域おこし協力隊の成果について

今までに長和町に着任した地域おこし協力隊の総人数と定住率は？

着任数22名で、定住率は60%以上

問 長和町では2015年

から地域おこし協力隊制度を取り入れ、受け入れを開始しました。2025年までに長和町地域おこし協力隊として着任された人数をお教えください。また、任期満了後、定住されている人数と、起業された人数をお聞かせください。

答 総合政策課長

まず長

和町の地域おこし協力隊に着任された人数は、22

問 協力隊OB・OGがこ

の長和町で様々な分野で起業しております。このような成果を踏まえお伺いさせて頂きます。今後の地域おこし協力隊制度を更に活用し、今後の未来を担う人材を増やして

人です。現役隊員を除いた隊員OB・OG14名のうち、任期満了後に定住されている人数は9人、起業された人数については、8人です。

答 総合政策課長

着任前

の行政側へのサポートの重要性があることから、来年度、地域おこし協力隊募集・受入及び活動支援などに関する業務を、長野県や県内市町村の地域おこし協力隊OB・OGをはじめ、県内で地域コーディネーターとして活躍する方々がメンバーで構成される、一般社団法人ローカル・イノベーション・イニシアチブに委託する予定です。これにより、着任後の活動が円滑かつ持続的に展開される基盤の構築が促進され、退任後の起業、創業、移住に繋がっていくものと期待しています。



城内たき子
議員

長和町の防災について

要配慮者の避難体制は

名簿を作成・更新している

問 令和6年3月改訂長和町地域防災計画本編の概要版はあるのか。

答 町長 関係法令等の改正、町の組織機構の見直しに対応するため令和7年度事業として当計画の改定を行っている。

問 総務課長事務取扱 令和5年度の改定では費用面などから概要版の作成ができなかった。今年度の改定において概要版の作成を行う予定である。

答 避難時にサポートを必要とする要配慮者や避難行動要支援者への体制は整っているか。

答 保健福祉課長 「長和町災害時避難行動要支援者登録制度実施要綱」に基づき名簿を作成している。年に一回更新をし、

長和町社会福祉協議会など関係機関に提供している。

問 避難行動要支援者に対する「いざ」という時のシミュレーションや訓練はしているか。

答 総務課長事務取扱 災害時に適切な避難が行えるよう、避難先や避難支援の方法等を記載した個別避難計画の作成が令和3年から市町村の努力義務とされた。本人や家族の防災意識や対応力を高める個別避難計画の作成を令和5年度から取り組んでいる。

問 備蓄食料、飲料水、衛生用品等としてどのような物があるか。

答 総務課長事務取扱 食料、飲料水、乳児用ミル

ク、子供用おむつ、大人用おむつ、トイレットペーパーなど9の標準的品目がある。

問 防災備蓄用食料にはどのような物があるか。

答 総務課長事務取扱 アルファ米のパックご飯、パンの缶詰、粉ミルク、おかゆ、おじやなど。アレルギー対応食や乳児用ミルクは県が多めに備蓄することとなっている。

問 賞味期限や保存期限の管理は。

答 総務課長事務取扱 食料は5年から7年、飲料水は主に12年保存可能な物を準備。衛生用品は使用期限が定められていないので今は管理していない。在庫管理として内閣府の新物資システムの情

報更新にあわせ確認を行っている。

問 期限切れが近い食料品や水の扱いは。

答 総務課長事務取扱 保存食は地域の防災訓練の際に提供している。大量に期限切れを起こしそうならばフードバンクへの提供等も検討する。

問 避難所でプライバシーの確保はできるのか。

答 総務課長事務取扱 長野県の防災における重点項目のひとつとして避難生活の質の改善を図



家庭で準備できる防災備蓄品の一例。日持ちする食品、水、トイレットペーパーなど

る事が掲げられている。町でもパーテーションの備蓄を進めている。



阿部由紀子
議員

作物や生活を守るための獣害対策

人材不足と維持管理への対策を

地域と連携し維持管理を推進

問 町内各地でシカによる被害が相次ぎ、生活にも影響が出ています。被害の状況は。

答 町長 ニホンジカ等による被害は春の播種から秋の収穫まで町内全域に及び、地域や季節を問わず発生しています。被害は苗や新芽の食害、踏み荒らしなどで、減収や品質低下が見られますが、実態把握は困難で大きな影響が生じています。

答 産業建設課長 捕獲状態のシカは猟友会員による駆除対応となりますが、仕事等をしているので緊急招集が難しい場合もあります。今後は猟友会とも協議し迅速に対応できる体制強化を図ります。

問 野生動物による被害は町民の生活に直結し、精神的な負担にもつながる深刻な問題である。現状把握と対策は。

答 産業建設課長 被害は農業者等からの情報提供や共済申請を基に把握しています。シカは河川部から侵入する例や、防護柵設置後も被害が増加しているとの報告があり、現地確認や猟友会と連携し対応しています。

問 猟友会の会員数の推移、またその中で実際に捕獲活動に従事している人数はどのような状況か。

答 鹿柵の維持管理は各自治会で行っていただいているが、人口減少が進み人材が年々減ってきている。持続可能な維持管理のために、どのような支援策や体制づくりを考えているか。

答 産業建設課長 防護柵は地域主体で設置・管理しており、町は資材提供を行っています。総延長は110kmを超え、全てを町で管理することは困難です。多面的な支払い制度の活用などを周知し、維持管理を支援していきます。

問 今後の世代交代、担い手確保に向けて、狩猟免許取得への補助も視野に

答 産業建設課長 有資格者57名のうち実働は半数程度、銃保持者は19名です。年齢構成は、70代6名、60代3名、50代3名、40代5名、30代2名です。

答 産業建設課長 駆除1頭あたり1万8千円の補助を行っており、担い手確保につなげています。狩猟免許取得支援も含め検討していきます。

問 今後の課題と対策は。



姫木平で遭遇したシカの群れ

議会活動報告

■議員ハラスメント防止研修会

優越的關係と威圧 言動ハラスメント の実態を学ぶ



Isayama

1月9日（金）、「議会活動におけるハラスメントへの対応」をテーマに、札幌学院大学非常勤講師・吉田博氏の講義動画を視聴し、議員間で意見交換を行いました。

講義では、近年のハラスメント事案の増加を背景に、議員は加害者・被害者の双方になり得ること、議会の信頼確保のため高い人権意識が求められることが示されました。

パワハラ の定義や具体例として、優越的關係を背景

にした威圧的言動や人格否定などが挙げられ、行政監視との違いは手段や態様にあるとされました。また、セクハラや有権者からのハラスメント、無意識の偏見の影響についても説明がありました。防止には方針の明確化や相談体制整備、継続的な研修が重要とされ、意見交換では基準の共有や第三者的な判断の必要性が挙げられました。

■議会運営研修会

59 町村議会の 実態と女性割合 20.5%の現状



Sato

1月20日（火）に、長野県59町村議会議員員に対して
① 町村議会実態調査結果の

概要について、② 地方議会の運営について研修が行われました。

① 全国一斉に町村議会の状況（実態）を把握するために実施されている調査の集計結果について概要説明を受けました。県内町村議会の議員のなりて不足の課題、議会の女性の割合（20.5%）緩やかな増加傾向の状況が概要説明から読み取れました。議会の活性化に向けた取組、ハラスメント防止条例等の制定状況など多様な人材が参画するための課題も読み取れました。

② 議会運営の実務、議案の審議について議員必携に記載されている事項をもとに、実際の実務や運用について詳しい研修を受けました。議案は、議員の議決の対象となる案であり議員及び委員会からの議会に提出できる。その審議方法についても詳細な実務研修を受けました。講師の実務解説について実務面で役立てたいです。



北川氏による講演の様子

1月27日（火）、上田東急R E I ホテルにて上田地域市町村議会議員研修会が開催され、長和町から9名の議員が参加しました。講演は、早稲田大学名誉教授の北川正恭氏により「議員間討議とチーム議会」の題目で行われました。昔

■上田地域市町村議会議員研修会

現代に合わせた議会の在り方を!



の議会と現在の議会の在り方について比較し、今の時勢にあった議会について他の市町村で行われた事例をもとに話されました。個々動いて意見していた昔の議会と違い、議員同士で話し合い、チームとしてまとめ、地域のことを考える議会でなければならぬという内容でした。

議員自身が町民の声を聞き執行部任せではなく執行部に提案し実行させる街づくりを心掛けなければならぬと聞き、これからの議会の在り方について深く考える講演でした。

■立科町・長和町議会議員研修会

小諸に学ぶ 空き店舗活用の まちづくり



2月6日（金）、立科町老人福祉センターにおいて、立科町・長和町議会議員研修会が開催されました。今回は「空き物件を活用したまちづくり」をテーマに、小諸市で空き店舗の活用や創業支援に取り組む株式会社高野不動産代表・高野慎吾氏を講師に迎えました。高野氏が立ち上げた「おしゃやれ田舎プロジェクト」では、空き店舗と創業希望者をつなぎ、民間主体で中心市街地の活性化を進めてきた事例が紹介されました。講演後にはグループに分かれて意見交換を行い、空き家・空き店舗の活用や移住者受け入れなど、両町の課題について意見を



高野氏の講演に耳を傾ける議員たち

■下諏訪町議会スキー交流会

スキーを通じた意見交換



交わりました。今回の研修で得た知見を、今後の議会活動や地域づくりに生かしていきたいと思えます。

2月12日（木）、ブランドシュエ山スキーリゾートで、下諏訪町議会議員の皆さんとスキー交流会が開催されました。

この交流会がきっかけで下諏訪町の小学生のスキー教室が開催されるようになりました。下諏訪町との親睦が深まり、下諏訪町の下諏訪町議会議長はじめ、4名、長和町議会からも8名参加し、好天に恵まれ最高のコンディションの中、情報交換グループとスキー



スキー地蔵前にて

チームと別れての交流会となりました。私はスキーグループに参加し、10年以上ぶりの挑戦となりリフトに乗るのも一苦労でした。リフト乗車時にお互いの町の事を意見交換するなど、とても有意義な時間となりました。本年度から、本格的にスノーボード解禁となり多くの若者が訪れ、新しいブランドシュエ山スキーリゾートを体感できました。お昼には、情報交換グループと合流し、昼食をとりながら交流を深めました。

■青木村・長和町議会議員研修会

情報通信ネットワークの高機能化



2月13日(金)、青木村役場において「青木村・長和町議会議員研修会」が開催されました。

青木村で整備された高機能情報通信ネットワークについて研修が行われました。青木村では旧サービスは事業開始から13年が経過し、機器類の老朽化が進み、機器の更新も難しいため、旧サービスの課題を解決しつつ、近年多発する大規模災害や非常時に対応する機能を追加しネットワークを構築したそうです。更新にあたり村の方針として「誰一人取り残されない、平等

できめ細やかな、災害に強い新しい情報通信サービス等の構築」を目指しネットワークが更新されました。長和町でも喫緊の課題として考えなければならぬ問題であり、大変有意義な研修となりました。



■上田広域連合議会定例会

資源循環型施設の整備と運営費に475億円を想定

3月3日(火)から6日(金)の会期で、上田地域広域連合議会2月定例会が開催されました。

令和8年度一般会計・特別会計予算、令和7年度一般会計・特別会計補正予算、条例案2件他について審議が行われ、全ての議案



青木村・慶太塾にて

が全員賛成で可決されました。資源循環型施設整備と運営事業費として、令和8年度から33年度まで長期間の債務負担行為で限度額475億円を想定。地域医療対策として、二次救急医療を担う病院群輪番性病院運

(単位：千円)

令和8年度上田地域広域連合予算		
会計	予算額	前年比較増減
一般会計	2,641,839	111,844
ふるさと基金特別会計	100,426	△34,518
介護保険特別会計	265,875	△18,792
消防特別会計	2,554,000	△628,729
合計	5,562,140	△570,195
長和町負担金	287,667	5,613

■上田市長和町中学校組合3月定例会

特別教室棟の空調設備を整えます

営事業補助、輪番性病院の後方支援を担う信州上田医療センターへの補助、救急搬送収容実績に応じた補助等を計上しました。

3月19日(木)、令和8年中学校組合議会3月定例会が開催されました。

令和8年度予算、令和7年度補正予算、教育委員会の委員の任命について審議を行い、全ての議案が全員一致で可決・同意されました。令和8年2月19日、令和7年11月から令和8年1月までの例月出納検査結果の報告がありました。

令和7年度一般会計補正予算について 実績に伴い

(単位：千円)

令和8年度中学校組合一般会計予算		
会計	予算額	前年比較
議会費	224	0
総務費	1,720	△206
教育費	198,008	43,185
公債費	12,510	△5
予備費	2,138	426
合計	214,600	43,400

1368万2千円を減額し、1億3978万1千円とする。

令和8年度一般会計予算について 前年より4340万円多い総額2億1460万円とする。教育費の主な用途として生徒用パソコン2000台の更新に伴う1100万円、照明器具のLED化に伴う委託料・工事請負費に1661万7千円、空調設備設置に伴う委託・工事請負費に5216万8千円。LED化・空調設備に係る歳入として学校施設環境改善交付金1243万1千円、施設整備事業基金繰入金1415万4千円、学校教育施設等整備事業債4220万円。

■依田窪医療福祉事務組合 3月定例会



3月19日(木)、依田窪医療福祉事務組合議会、令和8年第1回定例会が開催され、令和8年度予算案5件、令和7年度補正予算2件、監査委員の任命1件について審議を行い、全ての議案が全員賛成で可決されました。

■地域医療持続可能性を高める上田スタイルの継続。急性期から回復期、在宅医療介護支援に至るまで、切れ目のない医療提供体制を継続し、住民の安全を見守ります。

■令和8年度、診療報酬改定が行われ、地域医療制度改革の年となります。医療

と介護の連携強化、地域包括ケア推進など、医療資源を最大限に活かしながら、安心して暮らせる体制を維持・発展を目指します。

■城下院長の三つの柱である医療・介護・在宅の連携強化の元、新しい医療の形への挑戦、地域完結型医療の更なる進化を目指します。

■依田窪老人保健施設「いこい」予算は前年度比3702万円の増額予算となります。厳しい経営ですが、地域にとつては必要な施設。施設存続を住民の理解と協力が必要となります。

会計	予算額	対前年増減
一般会計	252	0
病院事業収支	4,001,045	98,309
病院資本的支出	478,803	23,028
老人保健施設いこい 訪問看護 ステーション	569,170	37,020
	96,200	15,237
居宅介護支援事業所	34,623	519

★議案に対する議員の賛否結果 《賛成可、反対否、議長は表決に加わらない》 (賛否の分かれたもののみ掲載)

議案	表決結果	諫山 三武	高田 傑	小川 法樹	城内たき子	阿部由紀子	龍野 一幸	荻野 友一	佐藤 恵一	田福 光規	原田 恵召
議案第10号 長和町和田宿滞在型交流施設条例の制定(修正)について	可決	可	否	否	可	可	可	否	否	可	—
議案第11号 長和町給水条例の一部を改正する条例について	可決	可	可	可	可	可	可	可	可	否	—
議案第12号 長和町公共下水道条例の一部を改正する条例について	可決	可	可	可	可	可	可	可	可	否	—

補) → ただし「長和町和田宿滞在型交流施設条例の制定について」に関しては一部修正動議があり、修正案に対して賛成多数(賛5、否4)で可決となりました。詳細はP13をご覧ください。

第一回臨時会

1月16日(金)、令和8年長和町議会第1回臨時会が開催され、令和7年度補正予算3件について審議を行い、全員賛成で可決しました。

既存の予算総額に1億3984万3千円を追加し、予算総額を64億2017万円とする

国の「総合経済政策2025」物価高騰対応地方創生臨時交付金1億3055万8千円の交付に合わせて、事業を行う。

■一般会計補正予算 第6号について
非課税世帯エアコン設置補助事業384万円・地域いきいき券配布事業負担金7496万円・上下水道料金軽減補助事業1500万円など全9事業。

■水道事業特別会計補正予算(第2号)について

■公共下水道事業及び排水処理施設事業会計補正予算(第2号)について
上下水道とも、国の「総合経済対策2025」を受け、全戸の其々の基本料金の減免を行う。

長和町 あの人を訪ねて

— 第28回 —



しみず りょうた
清水 亮太 さん
(上立岩)

略歴・活動

1980年長和町大門窪城生まれ。工科短大卒業後、県内企業に就職。ファウンテン開業をきっかけに退職。現在に至る。

広報常任委員会が町民の皆さまを訪ねて、意見や活動をお聞きします。

問 どうして長和町に？

答 大門保育園↓長門小↓依田窪南部中↓上田千曲高↓工科短大と、生まれも育ちも長和町、生粋のながわっこです(笑)。長和町を出ようと思ったことは何度かありましたが、結婚して子供も授かり、ずっと住んでいます。きつと長和町が好きなんです！

問 飲食店を経営されていますがキッカケは？

答 妻が「石窯cafe KOKUYA」という飲食店を和田地区で始めたことがきっかけです。会社員をしながら、週末は妻の店を手伝うようになり、自

分でも飲食店をやってみたい！

と思うようになりました。たまたま知人から、「道の駅に空き店舗が出るみたいだからコクヤさん、そこで2店舗目やったら？」とお声がけいただき、「よし！じゃあやってみるか！」と、脱サラを決意し、その店舗を譲り受け、飲食店オーナーの道が始まりました。森の泉さんは木がふんだんに使われたとてもステキな店舗だったので、内装はほぼ変えずに、ウッドデッキの製作、トイレの改装などを自分たちで改修してとても思い入れのある店舗に仕上がりました。

問 今後、挑戦したいことや夢などあれば教えて下さい。

答 挑戦したいことは多くありますが、今年も5月30日(土)、31(日)にマルメロの駅なごにて「マルメロマルシェ」を開催します！道の駅のシンボルとするマルメロを植樹し、道の駅の象徴として町全体がマルメロへの関心を深め、マルメロがある「マルメロの駅なご」としたいという思いで動き出しました。昨年同様に長和町、上田

地域、県内の美味しい食を参集します。出店条件として長和町の食材を使用した飲食物を一品用意していただくと考えています。長和町産のマルメロを特産品とし、商品化や販売、イベントを通して横の繋がりをもちキッカケとなり、みんなでマルメロの駅なごとを盛り上げ、地元の方にも利用していただける道の駅にしていきたいですね。イベントの詳細や新着情報などはマルメロマルシェのインスタグラムからチェックしてみてください。



マルメロマルシェ

長和町議会議員から 町民の皆様へ

議会から町民の皆様へのお知らせや議員の考えなどを掲載しています。今号も、龍野一幸議員です。

▼新緑が輝き、自然の力強い生命力を感じる季節です。新年度がスタートしました。広報公聴常任委員会は、議会だよりモニターの皆様や町民の皆様から頂いた声をもとに、

読みやすく興味のもてる内容となるよう読み手目線を最優先に編集してまいりました。▼紙面上では議場の緊張感や議会用語や、行政用語など伝わり難いものもあり、内容を表す表題や副題・語句解説・などを加えたり、都度改善をしてきました。議員全員で意見を出し合い、今後も皆様の興味を引く内容となるよう編集に取り組んでまいります。▼個人的には紙面中のいずれかに、ホッとする・微笑みを感じる一文を入れたいたのですが、おっちゃん達から「やめらざ〜」と言う声が上がりました……完。

ながわまち 議会だより

広報公聴常任委員会

- 委員長 龍野 一幸
副委員長 諫山 三武
委員 田福 光規
佐藤 恵一
阿部由紀子

■ 町政や議会、「議会だより」に関するご意見や感想をお寄せ下さい。

■ 長和町議会事務局 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町 4247-1

電話：0268-75-2059 / FAX：0268-68-4139 / メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp